

# ATEM Newsletter

ATEM公式サイト <http://www.atem.org/>

May, 2019

No.36

## 支部・委員会活動報告特集

発行：映像メディア英語教育学会事務局  
(旧映画英語教育学会)  
住所：〒169-0075  
東京都新宿区高田馬場4-3-12  
アルク高田馬場4F  
TEL：03-3365-0182  
FAX：03-3360-6364  
E-mail：office@atem.org  
郵便振替：00820-3-1477

映像メディア英語教育学会 / The Association for Teaching English through Multimedia

### ■会長挨拶

#### ATEM President

**Hitoshi YOKOYAMA**  
(Kyoto Women's University)



#### ATEM 会長

横山 仁視 (京都女子大学)

平素は本学会の諸活動へのご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。新学期も始まり、それぞれの教育・研究の場で慌ただしい毎日を過ごされておられることと察します。

前号 NL35 にて、会長就任に際し6つの活動を実現するために Active Membership として会員諸氏のご理解とご協力をお願いしたい旨を明記させていただきました。今回、特にその内3項目について再認識していただくと共に、新たに一項目を加え、改めて会員諸氏にご理解とご協力をいただきたいと考えております。

1. 全国大会・支部大会の活性化と会員の積極的な参加
2. 支部大会での「支部交流枠発表」として他支部の会員の発表を促進
3. SIG (Special Interest Group) の設立による支部の垣根を越えた研究・教育活動の促進
4. 新規会員の獲得について

1 について：本年度の全国大会は、10月19日(土)に京都女子大学で開催します。会員諸氏の積極的な参加が大会の成功に繋がると言っても過言ではありません。発表者の日頃の研究成果に耳を傾け、発表者と聴き手の双方にとって実りある活気に満ちた学術的意見交換の集いの場となるよう、一人一人が心がけてくださいますようお願い致します。「大会に参加することが会員の義務」という認識をお持ちいただきたく思います。当日は本学会の姉妹団体である韓国の STEM の研究者たちも多く参加されます。学術的交流を図る良き機会ですので、是非ご参加ください。

2 について：各支部大会での「支部交流枠発表」を促進してください。各支部の特徴を堅持する一方で、「映像メディア」という共有媒体を基に、新たな視点を持った他支部

会員による発表が教育・研究の幅を一層広げてくれることを期待します。今年度の支部大会は北海道支部(6月22日)から順次開催予定です。

3 について：新たな取り組みである SIG の公募では、各支部から多くの申請が届いています。今後、この SIG 参加メンバーが支部内の参加メンバーにとどまらず、支部の垣根を超えた同じ教育・研究目標を持った会員同士の集まりとして発展していくことを切に期待します。この SIG については、締切後に学会ホームページでも公開しますので、是非各 SIG の趣旨と活動予定の記載をご一読くださいますようお願い致します。

4 について：新たなお願い事項として、「新規会員の獲得」を明記します。現在本学会の会員数は418人です。私の任期中に少なくとも5割増しの600人を目指すことを共有したいと思います。学会活動は会員諸氏の年会費により運営されていることは言うまでもありません。残念ながら、年会費をお支払いいただいている会員がいることも事実です。昨今、外部団体へ設備使用料を求めることが、私立大学でも広がってきました。全国大会・支部大会、STEM 対応、支部活動補助交付金、研究奨励金、将来的に2日間にわたる全国大会の是非などの諸事情を考えるに、新規会員数を増やすことは、安定した魅力ある学会活動を維持していく上で急務であると認識しています。今後、現在の各支部の会員数に応じて割り当て人数を決め、各支部長を通じてお願いさせていただきますので、学会の広報戦略の一環としてご検討いただきますようお願い致します。

最後に、横山は昨年度4つの支部大会に参加、あるいは発表をさせていただきました。本年度は、5つの全ての支部大会に参加あるいは発表することを任期中の自らに課した義務としております。これからの ATEM について、会員の皆様と建設的な意見交換をする場を作りたいと考えておりますので、その節はどうぞお時間をお作りくださいますようお願い致します。

今年度の全国大会からプログラムの内容を若干調整し、「発表概要の記載に統一を図る」こと、「支部シンポジウム枠を独立させ、STEM にディスカッサントとして参加してもらうことで学術交流を図る」ということに致しました。それでは10月に京都でお会いしましょう。

# 第 25 回 ATEM (映像メディア英語教育学会) 全国大会

The 25<sup>th</sup> ATEM (The Association for Teaching English through Multimedia) National Convention

開催日 : 令和元年 10 月 19 日 (土)

Date: Oct. 19th (Sat), 2019

会場 : 京都女子大学 A 校舎

Place: Kyoto Women's University

テーマ : 映像メディアで高める発想力と発信力 Developing Creativity and Communicativity through Multimedia

令和元年の ATEM 全国大会は、10 月 19 日、京都女子大学にて開催いたします。今回の大会では、TEDx Kyoto の創業者であるジェイ・クラパーキ先生を中心に特別シンポジウムを催します。この他にも、ATEM の各支部によるシンポジウム、会員による研究発表やポスターセッションが予定されています。皆さんも美しい秋の京都で、有意義な一日を過ごしませんか？

※会員の著書を表示するコーナーも設けております。

## ■特別シンポジウム

### The Power of Ideas: Engaging Students with TED Talks

TED で発想力と英語を磨く

代表パネリスト : Jay Klaphake 先生 (京都外国語大学教授)



現在、英語教育の様々な場面で TED が利用されるようになっていきました。このシンポジウムでは、TEDx Kyoto の創業者であり、プレゼンテーション・メソッドの専門家であるクラパーキ先生その他のパネリストの方々に、英語の授業での TED の使い方や効用について発表して頂きます。

【講師プロフィール】米ミネソタ州マカレスター大学卒業。法学博士。現在、京都外国語大学教授・ソーシャルデザイナーとして、国際ビジネス法やプレゼンテーションメソッドを教える。2011 年、TEDx KYOTO を創立し、以来 TED のプレゼンター育成に努める。趣味のドラムはプロ級の腕前。

## プログラム

9:15	受付開始
10:00-10:10	開会式
10:15-10:45	STEM 特別発表
10:50-11:15	発表 1
11:20-11:45	発表 2
11:50-12:10	総会(会員のみ)
(12:10-14:10)	ポスターセッション
12:50-13:15	発表 3
13:20-13:45	発表 4
13:50-14:15	発表 5
14:30-15:55	支部企画
16:05-17:20	特別シンポジウム ※左記参照
17:20-17:25	閉会式
17:45-19:45	懇親会

※詳細は発表者決定後 ATEM ホームページに掲載します。

## 事前参加申込受付期限: 10 月 1 日(火)

ATEM ホームページ <http://www.atem.org> の「全国大会」のページよりお申し込みください。

事前申込者参加費 : 会員¥1,000 非会員¥2,000

(当日参加費 : 会員¥2,000 非会員¥3,000)

学生証提示で学生無料

## 【研究発表応募方法】

ATEM ホームページ <http://www.atem.org> の募集要項に従い、会員専用ページ(本号最終頁参照)よりお申し込みください。※English presentations will be welcomed.

募集期間 : 6 月 1 日 (土) ~ 7 月 1 日 (月)

応募資格 : 2019 年度分会費を納入済の ATEM 会員

※会費納入の確認に数日を要しますので、早めにご納入ください。

## ■TED とは■

TED (Technology Entertainment Design)は、「よいアイデアを広めよう (Ideas Worth Spreading)」の精神の下、アメリカのカリフォルニア州モントレーで、年1回、講演会を主催しているグループである。TED の講演会は、1984 年にサロンの集まりとして始まったが、2006 年から講演会の内容をインターネット上で無料で動画配信するようになり、その名が広く知られるようになった。TEDx とは、TED の精神に基づいて世界各地で独自に運営されているプログラムである。



(TED 日本語ホームページより)

## ■支部だより■

### [北海道支部]

◆北海道支部では、2019年1月26日(土)にATEM北海道支部第4回ワークショップ「医療英語教育ワークショップ」を小樽商科大学札幌サテライトで開催しました。昨年10月27日(土)に京都外大で開催された第24回ATEM全国大会でも支部企画ワークショップを行った、北海道支部が誇る「北の医療班」の4名(足利先生、北間先生、松田先生、渡辺先生)による発表に、外部から13名と会員14名、合わせて27名の参加があり、たいへんな盛り上がりを見せました。また、この大会には横山仁視会長もはるばる京都から駆けつけご挨拶をいただきました。ワークショップ後の近くのカフェでの懇親会も盛り上がり、交流を深めることができました。

◆3月6日(水)には、支部研究会を行い、田口先生による授業の実践報告がありました。続いて開催された支部総会において、支部長に小林、副支部長に塚越先生と足利先生が再選され、もう一期任務を遂行することになりました。またこの期間、新たに数名の方々が入会しました。あと数名で50名の会員となり、北海道支部は今後も活動を活発にしていく所存です。

#### ◆2018年度活動報告

- (1) 支部会員数と2018年度年会費支払状況報告  
(43名中、12名未納)
- (2) 隔月支部研究会&シェア
- (3) 2018年6月第7回支部大会(100名を超える参加)
- (4) ATEM九州支部大会参加(小林)
- (5) 2018年9月韓国STEM参加(過去最高の9名参加)
- (6) ATEM東日本支部大会講演(佐野先生)
- (7) 2019年1月第4回ATEM北海道支部ワークショップ:医療英語(参加者一般13名、会員14名、合計27名)
- (8) 2019年3月支部総会 来年度より支部長に小林、副支部長に塚越先生、足利先生  
(支部長:小林 敏彦)

### [東日本支部]

◆東日本支部では、2018年12月16日(日)に第9回東日本支部大会を、麗澤大学東京研究センターで開催しました。北海道支部の佐野愛子先生(札幌国際大学)の基調講演“Using Movies as Prompts for Discussion and Writing in English Classes”では、様々な映像を活用して英語力およびcritical thinkingの能力を伸ばす授業の方法について、楽しくお話をうかがいました。その他、八木啓太先生、深井陽介先生とライアン・スプリング先生、塚田三千代先生、吉田雅之先生の研究発表があり、締めくくりに、ATEM会長の横山仁視先生がATEMの立ち位置と今後の展望についてお話しくださいました。



基調講演の佐野愛子先生(札幌国際大学)

◆2019年3月24日(日)に、春季例会を実施しました。NHK高校講座「コミュニケーション英語II」講師の赤塚祐哉先生(早稲田大学本庄高等学院)による講演、「国際バカロレアの英語授業における映像メディアの活用実態と可能性」の他、清水純子先生と塚田三千代先生、田淵龍二先生、吉田雅之先生、ライアン・スプリング先生による研究発表があり、それぞれ活発な質疑応答がありました。

◆支部役員に多くの交代がありました。詳細は東日本支部のHPをご覧ください。今後とも支部活動を活発に進めていけるよう尽力して参りたいと思います。

(支部長:日影 尚之)

## [中部支部]

- ◆中部支部では、昨年度に役員が入れ替わり新体制でスタートし、定期的に運営委員会を開催しました(5回)。
- ◆支部研究大会を2018年9月8日(土)に金城学院大学サテライト(名古屋)で開催し、今年度も同時期での開催に向け現在企画準備中です。詳細が決まりましたら、発表者の募集要項をお知らせします。2019年度も充実した大会を開催したいと思います。ご発表・ご参加をよろしくお願いいたします。



中部支部大会の様子

(支部長：杉浦 恵美子)

## [西日本支部]

- ◆西日本支部では、2019年3月2日(土)に、第16回西日本支部大会を京都女子大学で開催しました。



西日本支部大会の様子

特別講演では佐藤弘樹先生(α-Station FM Kyoto パーソナリティー)をお招きし、「ラジオ生放送現場から見たメディアの変遷と今後の英語教育の可能性」と題してご講演いただきました。シンポジウムでは「ノンフィクション素材活用法」と題して、玉井史絵先生(同志社大学)と齋藤安以子先生(摂南大学)にその

活用法をご提案いただきました。企画ワークショップでは、「Authenticating in-class activities using multi-media」と題して、井村誠先生(大阪工業大学)、松田早恵先生(摂南大学)、William Figoni先生(近畿大学)の3人の先生方に、授業で活用できる具体的な活動をご紹介いただきました。また、支部交流発表として、九州支部から、松中完二先生(久留米工業大学)と南部みゆき先生(宮崎大学)にご発表いただきました。他に、研究発表と実践報告が7件ありました。

- ◆支部長はじめ、執行委員・運営委員が大きく代わり、新たな支部の運営体制が発表されました。

(支部長：近藤 暁子)

## [九州支部]

- ◆前号でも簡単にご報告しましたが、昨年は8月25日(土)に北九州市立大学北方キャンパスにて支部大会を実施しました。テーマは「教育における映像メディアの可能性」でした。当日は英語教育、文化論、英文学、言語学など多様なご発表がありました。また、支部交流発表として、西日本支部から河野弘美先生(京都外国語短期大学)と現会長の横山仁視先生(京都女子大学)のお2人にご発表いただきました。他支部からも多くの皆様にご参加いただき、非常に充実した大会となりました。前日に台風が九州付近を通過するなど冷や汗をかきましたが、皆様のお力添えのおかげで素晴らしい大会となりました。

- ◆2019年の報告としまして、1月に運営会議を行い、今年の計画について話し合いました。今回の会議より、進藤三雄先生(熊本県立大学)と松尾祐美子先生(宮崎公立大学)に新たに運営委員に加わっていただきました。頼もしいお2人のご参加もあり、今後ますます充実した支部運営が行っていきそうです。

- ◆2019年の九州支部大会は9月7日(土)、福岡大学での実施を予定しています。賑やかな支部大会にしたいと考えていますので、皆様のご発表・ご参加をお待ちしています。

(支部長：吉村 圭)

## ■委員会だより■

### 【国際交流委員会】

◆ATEM の姉妹学会である STEM (The Society for Teaching English through Media) の第23回国際大会が2019年5月17日(金)～19日(日)に、韓国公州市の公州大学校(Kongju National University)で開催されます。今年度はSTEM (The Society for Teaching English through Media) と ETAK (The English Teachers Association in Korea) による共同開催で、大会テーマは Digital Paradigm Approach for Dynamic English Classes Through Transmedia です。ATEM からは全国の支部 から以下総勢 9 組 11 名の先生方が発表される予定です。

1. Ryan Spring 先生 (東日本支部) : Student perspectives of learning phrasal verbs with animations
2. 呉春美先生 (東日本支部) : The Combination Approach of Content and Language Integrated Learning (CLIL) and Externalization
3. 中村佐知子先生 (東日本支部) : The Effectiveness of Mnemonic Systems in English Vocabulary Learning
4. 福井美奈子先生・金田直子先生 (西日本支部) : An Amazing Approach to Discourse Markers in Movies and the TOEIC® L&R Tests
5. 北岡一弘先生 (西日本支部) : Suggestions for Enjoyable Classroom Activities: Using Music as a Means of Reducing Students' Shyness in the Japanese EFL Context
6. 山本五郎先生 (西日本支部) : Corpus-based Investigation of Synonymous Cursing Expressions
7. 飯田泰弘先生 (西日本支部) : Movies Provide a Chance to Compare English and Japanese/Korean Grammar Because 'What'?
8. 平野順也先生 (九州支部) : Grammar, Semantics, and Rhetoric: Focusing on Wish

また、ETAK との共同開催により、中学校・高等学校の先生方も多く参加されることと思います。一般会員の皆さまも、韓国の研究者との交流を広める良い機会ですので、どうぞふるってご参加ください。詳細情報は以下をご参照ください。

[http://www.2019et2.com/main/?load\\_popup=1](http://www.2019et2.com/main/?load_popup=1)

(委員長：井村 誠)

### 【会員管理委員会】

◆2018年10月より会員管理委員長を拝命しました、早稲田大学本庄高等学院の嘉来純一と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。前委員長の新田晴彦先生(専修大学)には、会員管理委員として引き続きご助力いただいております。

◆2019年2月初頭、会員管理システムに2点の不具合が生じました。システムを通じてのSTEM大会発表の受付ができなかったこと、および「学会からのお知らせ」メールの配信ができなかったという事象です。確認をしたところ、プログラムのバージョンが変更されていたことが原因でした。ご関係の皆様にはご不便・ご心配をおかけし、誠に申し訳ありませんでした。

◆会員管理システムをご活用ください。ATEM ウェブサイト右上の「会員」→「会員専用ページ」をクリックしていただくと、「会員管理システム」にログインすることができます(p. 8 参照)。システム内メニューの「個人のページ」「個人の会費納入状況」「大会情報」「ジャーナル情報」「STEM大会情報」「STEM Journalの投稿申請」から、個人情報の更新・会費納入状況の確認・全国大会の研究発表応募と参加申し込み・ジャーナルへの論文投稿・STEMジャーナル応募・STEM大会の研究発表応募と参加の申し込みが可能です。

(委員長：嘉来 純一)

### 【ICT委員会】

◆ICT委員会では、皆様に引き続きご利用いただけるよう、ウェブサイトの更なる充実を目指して参ります。内容に関するご意見やアイデアなどございましたら、お寄せいただきますようお願い致します。



(委員長：已波 義典)

## 【ジャーナル編集委員会】

### ◆ATEM ジャーナル第 24 号について

ATEM ジャーナル第 24 号には 17 編の論文の投稿がありました。分野別では、教育 7 編、文化 5 編、言語 3 編、文学 1 編、コミュニケーション 1 編でした。また支部別では、17 編中 9 編が西日本支部からの投稿という特徴がみられました。

前号でもお知らせしたとおり、今回より査読の効率化を図るため各論文を 3 名の査読委員が審査することになりました。また今回は各査読委員に論文 2 編を審査いただきました。その結果、25 名の査読委員の皆様から論文審査にご協力いただきました。年末年始のお忙しい時期にもかかわらずご協力いただきました査読委員の皆様へ改めて御礼申し上げます。厳正なる審査の結果、映像メディア英語教育の各分野に関する論文 10 編（研究論文 8 編、教育実践報告 2 編）が掲載されることとなりました。

◆昨年 10 月にジャーナル編集委員会のメンバーが一新され、第 24 号の発刊に向けて活動してまいりましたが、今回の経験を活かし、次号での編集作業の改善、効率化に繋げていきたいと考えております。また投稿ガイドライン等、投稿に関する書類も更新していく所存です。次号につきましても、会員の皆様からの多くの論文のご投稿をお待ちしております。

(委員長：足利 俊彦)

## ●ATEM 論文リンク集●

J-STAGE で閲覧が可能な、ATEM ジャーナル『映画英語教育研究』掲載論文および研究報告は下記よりアクセスできます。

<http://atem.org/index.php/papers/papers>

## 【大会運営委員会】

### ◆第25回ATEM 全国大会について

本年10月19日(土)、第25回ATEM 全国大会が京都女子大学A校舎にて開催されます。大会テーマは、「映像メディアで高める発想力・発信力」です。本大会では、TEDx Kyotoの創立者であるジェイ・クラパーキ先生を中心に、特別シンポジウムが開催されます。会場の運営は、西日本支部の大会実行委員会(委員長：近藤支部長)が中心となって担い、本部大会運営委員会

(委員長：藤枝)がサポートします。去年に引き続き、秋の京都での大会になりますが、盛会になりますよう各支部・会員の皆様のいっそうのご協力をお願い致します。

全国大会の詳細は本部ホームページに掲載します。

<http://atem.org/index.php/conventions/25th>

※<http://atem.org> トップメニュー「全国大会」→「第 25 回 ATEM 全国大会」からアクセスできます。

※会員は全国大会の参加申し込みを本部ホームページ「会員専用ページ」から行ってください(本紙 p.8 参照)。

2019年10月19日(土)開催

第25回ATEM全国大会会場



京都女子大学

<http://www.kyoto-wu.ac.jp>

(委員長：藤枝 善之)

## 【広報委員会】

◆まずは、いつも本紙への情報提供にご協力いただいております皆様に、心よりお礼申し上げます。本紙は年2回、春夏号と秋冬号の発行で、No.28よりカラー版で作成しております。バックナンバーは、掲載写真の画質が少し落ちますが、PDF版を本部HPにてご覧いただけます。

◆本誌掲載のため、全国大会等で写真撮影をさせていただいております。見やすく興味を持っていただけるような紙面作りのため、委員一同いっそう工夫して参りますので、今後ともご協力くださいますようどうぞよろしくお願い致します。

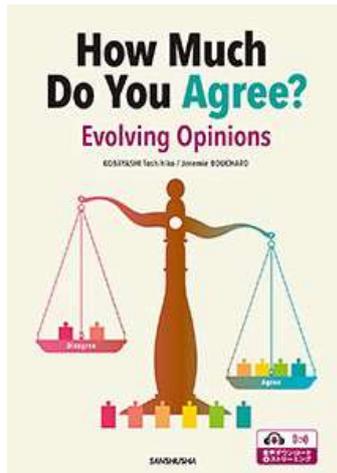
(委員長：秋好 礼子)

## ■書籍紹介

### How Much Do You Agree? — Evolving Opinions

どのくらい賛成しますか

小林敏彦 & Jeremie Bouchard 共著  
(三修社 2019)



本書の最大の特徴は、従来のディスカッションのテキストに見られる“Are you for or against \_\_\_?”のような白黒ははっきりさせるアプローチではなく、どの程度同意するかという、より正確な同意を確認しながら議論を進める点にあります。

私の英語教育のフィロソフィーは、真正性（オーセンティシティ）の追及です。教室で教える英語と現実との英語のギャップに学習者として何度も裏切られてきた個人的体験から、どのような状況でも本物の英語を教室で教えることを信条としています。教え方の便宜のために事実を曲げることは嫌いです。これが、私が教員になってから一貫して 3 つの M (Music / Movie / Media) を授業で使用してきた背景にあります。真正性は、教材の言語的特徴だけでなく、教え方について追及します。現実で起きえない授業活動は極力排すべきと考えます。例えば学生に、「死刑に反対か賛成か」と聞いても、本人が本当に二者択一ができるかどうか、疑問です。私は、それに代わるツールとして、授業評価等でお馴染みの Strong Disagree / Disagree / Agree / Strongly Disagree のスケールが授業で応用できないものかと、ふと思いました。本書では 6 段階で選択してもらいます。本書の特徴は、以下のようにまとめられます。

(1) すべてのタスクに QR コードを付けて、音声や画像ファイルをスマホで学習者が即時にストリーミングできる。

(2) ディスカッションで使える決まり文句がちりばめられている。

(3) 睡眠などの大学生にとって身近な話題からやや馴染みが薄いと考えられる夫婦別姓まで馴染みの度合いでユニットが配列されている。

(4) リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの 4 技能をすべて鍛えるタスクがある。

(5) ペア、グループ、クラスワークなどインターアクティブな授業活動ができるように工夫されている。

(6) 自分自身の意見が議論を進めていくうちにどのように変化するかを、スケールで確認しながら観察し、なぜ変化したか・しないのかを内省することで、説得力のある議論を展開するヒントを発見する。

(7) この世のあらゆる事象に対して、自分自身の考えを正確に把握し、それを言語化する習慣形成を行う。

以上の特徴を有する学生の発話を引き出すことを使命とする英語総合教材です。



ATEM 北海道支部長

国立大学法人小樽商科大学大学院教授

小林敏彦

全 15 章の一部をご紹介します  
(三修社 HP 掲載)

**Unit 1 We should keep early hours.**

**Unit 2 College students should live alone.**

**Unit 3 Club activities should be banned at schools.**

**Unit 4 Study abroad experience should be a requirement for university graduation.**

**Unit 5 College students should study foreign languages more seriously in addition to English.**

(その他 9 章)

## ■会員専用ページ（会員管理システム）

「会員専用ページ」は本部ホームページのトップ「会員」から「会員管理システム」へログインしご利用ください。

<http://atem.org>



会員管理システムでは、メニュー「個人のページ」「個人の会費納入状況」「大会情報」「紀要（ジャーナル）情報」から、**個人情報**の更新、**会費納入状況の確認**、**全国大会の研究発表応募と参加申し込み**、**ジャーナルへの論文投稿**が可能です。 ※不明点は本部事務局へお問合せください。

## ATEM Clapper Board



1. 会費の振込先等は、「映像メディア英語教育学会」に変更となっております。本年度の払い込み用紙はジャーナルに同封発送されております。
2. 年会費（4月1日～翌3月31日）5000円の納入期限は、原則6月30日とさせていただきます。

郵便局備え付けの振込用紙（青色）をご利用の場合は、下記口座へ納入ください。個別の納入状況については、本部ホームページ内にある「会員情報システム」（アクセス法はこの頁の上部参照）で確認が可能です。2年以上滞納された場合には、会員資格を失いますのでご注意ください。

ゆうちょ銀行：00820-3-1477  
 口座名義：映画英語教育学会事務局  
 ※通信欄に「〇〇年度年会費」と明記ください。

事務局 [office@atem.org](mailto:office@atem.org)

## <賛助会員一覧> (50音順) 2019.4.30 現在

株式会社 朝日出版社  
 株式会社 アルビス  
 株式会社 英宝社  
 株式会社 桐原書店  
 株式会社 金星堂  
 国際トラベル京都  
 一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会  
 コスモピア株式会社  
 株式会社 松柏社  
 株式会社 成美堂  
 センゲージラーニング株式会社  
 株式会社 トライアログ・エデュケーション

## ～編集後記～

- ・年度末から年度初めの大変お忙しい時期に原稿作成や校正にご協力くださった皆様、心より感謝申し上げます。
- ・次号（No.37、第26回全国大会特集）は、2020年1月の発行を目指しております。

【広報委員会】 2019.4.1 現在  
 委員長：秋好 礼子（九州）  
 委員：田口 雅子（北海道） 杉浦 綾子（東日本）  
 井土 康仁（中部） 衛藤 圭一（西日本）  
 石田 もとな（九州）

©ATEM All rights reserved.

